光が丘

学校教育目標
求めて学ぶ子ども

大津市立晴嵐小学校
学校だより　2月号
在籍児童数　９３３名
令和４年２月８日

立春！　春はもうすぐです

今年は、よく雪が降ります。大人はうんざりしてしまいますが、子どもたちは大喜びです。毎日がんばっている子どもたちに、空からプレゼントが届いているように感じました。

雪が積もった日には、たくさんの子が雪玉を作って登校してきます。その幸せそうな顔を見ると、こちらまで幸せな気持ちになります。その後校舎を回ると、様々なところに雪玉が飾られて？います。その雪玉を、休み時間にさらに大きくしている子もいます。厳しい状況の中でも、子どもたちは友だちと一緒に楽しい時間を過ごしています。

また、子どもたちは、マスク着用や手洗いの徹底など、感染防止対策をとりながらたくましく学校生活を送っています。学校全体で力を入れている「もくもくそうじ(上の写真)」もがんばっています。集中して隅々まできれいにぞうきんがけをし、掃除時間いっぱいまで廊下をぴかぴかにしている姿に感心しています。「ありがとう」と声をかけると、さらに力を入れて磨いていきます。本当に素晴らしいです。

地域の方から、すてきなお話を伺いました②

先日、地域の方から学校に電話がかかってきました。内容は下のとおりです。

昨日、車を走らせていると横断歩道で待っている子どもさんがいたので、止まって横断してもらいました。その子は、私が止まると、きちんとお辞儀をして渡っていきました。そして、渡り終わるとわざわざ振り向いて、もう一度きちんとお辞儀をしてくれました。小さい子で、黄色い帽子をかぶっていたと思います。その姿に感動しました。あまりにもうれしかったので電話せずにはおられませんでした。

「お辞儀一つで、こんなにも人の心を動かすんだ」と改めて感じました。きっとその子は、横断歩道で車に止まっていただいたら、いつもお辞儀をしているのだと思います。それが当たり前になっていることが素晴らしいですね。

学校だよりの１月号にも書かせていただきましたが、ここ最近、校門前や消防署前で、朝子どもたちを迎えていますと、「おはようございます」だけでなく、「いつもありがとうございます」「寒い中、ありがとうございます」と声をかけてくれる子が本当にたくさんいます。朝から、本当に気持ちがいいです。

学校でも、「気持ちよいあいさつを」「お世話になった人に、感謝の気持ちを伝えましょう」と、常々各学級で指導しておりますが、きっとたくさんのご家庭で、「あいさつの大切さ」や「感謝の気持ちを伝えることの大切さ」について、お話しいただいているのだろうと思います。

今後も、こんな「温かい話」であふれる晴嵐学区となるよう、保護者の皆様、地域の皆様と手を取り合って、子どもたちを健やかに育ててまいりたいと思います。

学校からのお願い

新型コロナウイルスの感染症につきましては、大変厳しい状況が続いています。保護者の皆様には、感染者が判明した際等の学校の対応につきまして、ご理解ご協力いただき、心より感謝申しあげます。

なお、新型コロナウイルス感染症は、いつ誰が感染してもおかしくない状況です。保護者の皆様には、**根拠のないうわさや風評被害が生じないよう冷静な対応をお願いします。**また、放課後の過ごし方(マスクの着用、手洗いの徹底等)など、ご家庭でも繰り返し確認していただきますようお願いします。